

平成 30 年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 B	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「詳説日本史改訂版」 (山川出版)						
副教材等	詳説日本史図録第 7 版 (山川出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・授業の目標は、「授業の主役であるわたしたち (生徒) が主体となり、協同性・社会性を身につけ、問題解決能力を養う」ことです。

・授業ごとに「本日の問い」を設定します。この質問は、いわゆる「絶対解」のないものを設定しますので、その回答を自分なりに考え、また他者と共有しながら「振り返りシート」の作成をしてください。

・各学期に小テストを 3～4 回行います。計画的に勉強してください。小テストの成績は平常点の一部となります。

・教科書を読み込んだり、web コンテンツ等を利用してあらかじめ予習ができていると、学習効率は格段に向上するので、自分で目標設定をして取り組んでください。

・単に暗記をするということではなく、学んだ知識を文章化することにも取り組んでもらいます。

2 学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。

・近現代史における諸課題を現代と結びつけながら主体的に考察することができる。

・他者と協働しながら、歴史的問題を考察することで現代における問題解決能力を養う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	近代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に迫るとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近代史を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読みとったり図表などにまとめたりしている。	近代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート 〔主題課題〕 振り返りシート	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	定期考査 〔主題課題〕 振り返りシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	幕府の衰退と近代への道	<p>* 欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。</p> <p>* 近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。</p>	○	○		○	<p>a: 列強の接近に伴う諸事件による鎖国政策への批判や寛政の改革・文化文政時代・天保の改革における失政を踏まえて、幕府の衰退をみようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート
	開国と幕末の動乱	<p>* 国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。</p> <p>* 幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。</p>	○	○	○	○	<p>a: 開港による経済・社会の情勢変化に着目して、公武合体、尊王攘夷、倒幕の動きなど政局への影響を考察し、意欲的に追及しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 小テスト

	<p>明治維新と富国強兵</p>	<p>* 明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。</p> <p>* 欧米の文化・思想の導入と一連の近代化政策に対する反動としての士族反乱・農民一揆の失敗と、言論による要求実現への転換を理解する。</p> <p>* 明治初期の対外政策について、欧米への対応と、アジアに対する外交政策の違いについて考察する。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p></p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>a: 近代化政策や欧米文化の導入について、国民の間に受容と反発があったことや国外の動向に対する理解を深め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 国境画定を含む明治初期の外交政策について、欧米諸国への対応とアジア諸国への対応の違いを多面的・多角的に考察し、その経過や過程を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 藩置県・徴兵制・四民平等・秩禄処分・地租改正・殖産興業政策に着目して、明治政府が中央集権体制を構築していく過程について理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>定期考査 ワークシート 小テスト</p>
<p>2学期</p>	<p>立憲国家の成立と日清戦争</p>	<p>* 政府の強力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。</p> <p>* 東アジアをめぐる国際環境が変容するなか、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察する。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>a: 立憲国家の成立過程と日清戦争の背景について理解し、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>定期考査 ワークシート 小テスト</p>

2 学期	日露戦争と国際関係	<p>* 開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。</p> <p>* 立憲体制成立後から桂園時代にいたるまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の対立と協力の視点から考察する。</p>	○	○	○	○	<p>a: 日露戦争発生の背景とその後の国内情勢について理解し、意欲的に追究するとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 小テスト
	近代産業の発展	<p>* 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して考察する。</p> <p>* 近代産業の発展に伴う社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。</p>	○	○		○	<p>a: 殖産興業政策に際しての国内の影響について、社会主義運動の発生を踏まえながら意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 小テスト
	第0章 二つの世界大戦とアジア 第一次世界大戦と日本	<p>* 第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。</p> <p>* 第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成</p>		○		○	○	<p>a: 第1次世界大戦に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>

3 学 期		立などに関連させて考察する。						
	2. ワ シ ン ト ン 体 制	*ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。		○	○		a:ワシントン体制に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシ ート 振り返り シート 小テスト
	3. 市 民 生 活 の 変 容 と 大 衆 文 化	*民主主義的風潮による社会運動の動向を理解すると共に、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。		○	○		a:市民の生活の変化に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシ ート 振り返り シート 小テスト

4. 恐慌の時代	<p>*戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。</p> <p>*社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。</p>	○	○	○	<p>a:戦後の恐慌に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト</p>
5. 軍部の台頭	<p>*日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。</p> <p>*恐慌から脱出し、国家主義が高揚するなかで、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する</p>	○	○	○	<p>a:日本の対外政策に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト</p>
第二次世界大戦	<p>*日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目</p>	○	○	○	<p>a:第二次世界大戦に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト</p>

	<p>して全体主義的な国家体制の進展を考察する。</p> <p>* 第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。</p>	○	○	○	<p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	
<p>第二章 占領下の日本</p> <p>1. 占領と改革</p>	<p>* 戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。</p> <p>* 戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。</p>	○	○	○	<p>a: 占領下の日本に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト</p>
<p>2. 冷戦の開始と講和</p>	<p>* 東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。</p> <p>* 連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。</p>	○	○	○	<p>a: 冷戦に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト</p>

3 学 期	第2章 高度成長の時代 1. 55年体制	<p>* 独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。</p> <p>* 冷戦構造に雪解けの状況が生まれる中、日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。</p>	○	○	○	<p>a: 高度成長に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト
	2. 経済復興から高度成長へ	<p>* 朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。</p> <p>* 消費革命による社会の変貌と経済成長がもたらしたひずみである社会問題について考察する。</p>	○	○	○	<p>a: 経済復興に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト
	第3章 激動する世界と日本	<p>* ドル＝ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。</p> <p>* 高度成長が終焉</p>	○	○	○	<p>a: 石油危機に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考</p>	定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト

	し、保守政権が動揺するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。				察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
冷戦の終結と日本社会の動揺	<p>*冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる</p> <p>*科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。</p>	○	○	○	<p>a:冷戦の終結に際しての国内の影響について、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。